



<https://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition

CONTENTS

ごあいさつ	1	来場者アンケート報告	6
第44回 国際福祉機器展 H.C.R. 2017報告 製品別出展社数一覧 等	2	国内出展社アンケート、 海外出展社アンケート報告	7
H.C.R. 2017国際シンポジウム・ H.C.R.セミナー、特別企画	3	広報、PR活動報告、 ガイドブック、次回開催のご案内	8
出展社プレゼンテーション実施一覧	5		

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会
Publisher : Health and Welfare Information Association

住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

New Year H.C.R. 2018

技術革新した介護・福祉機器への期待が大きくなっています

わが国では、65歳以上の高齢者人口が2042年にピークに達するといわれています。増加し続ける介護ニーズに対応するための関連諸制度の充実や、障害者の自立と社会参加を促進する諸制度の拡充をはじめ、社会保障制度のさらなる充実が急がれるところです。

こうした事項を含め、さまざまな社会課題を解決するために、ロボットやIoT (Internet of Things)、人工知能 (AI) 等のイノベーションをさまざまな産業や社会生活に取り入れることを指向する政府施策「未来投資戦略2017」が、昨年6月に閣議決定されました。その中には5つの戦略分野が示されており、その筆頭分野が「健康・医療・介護」となっています。そこには、技術革新を活用する事項の一つとしてロボット・センサー等の技術を活用した介護の質の向上も

盛り込まれました。

こうした動向のなか、もとより「ニッポン一億総活躍プラン」においても、その政策実現のための重要なテーマとして「介護の環境整備」や「障害者、難病患者等の活躍支援」、また、「地域共生社会の実現」が謳われており、介護・福祉機器とその開発や普及への期待はより一層高まっています。



さらに開催規模を大きくし、一層の充実をめざします

高齢者や障害者の保健・福祉、リハビリ・介護サービスなどの分野では、量的な対応と同時に、多様化するニーズを踏まえた、質的な対応の充実が求められています。とくに、在宅で暮らす方々の心身の機能の維持や向上を図り、その生活を支えるためにも、介護・福祉機器が担うべき役割はますます重要なものになっています。

こうした背景のなか、国際展示会としての開催が定着してから26

年目を迎えた第44回国際福祉機器展には、526社（国内447社、海外79社）から約2万点の福祉機器が展示され、12万1千人を上回る方々にご来場いただくことができました。

これまでH.C.R.は、介護・福祉機器を利用される方々の生活のあらゆる場面で役立つ製品の開発と普及を支える役割を果たしてきました。今年は、ご来場者はもちろん、これまで出展いただいた企業・団体の皆

さまのご協力のもとに、さらに開催規模を大きくして実施いたします。下記7つの目標を掲げ、福祉制度をめぐる動向を見据えながら、福祉分野全体の発展につながる最新の情報を発信してまいりますので、ぜひご協力とご支援をくださいますようお願いいたします。

国際福祉機器展の目標

- 1 豊かで安心・安全のための社会・システムづくりに貢献します
- 2 高齢者・障害のある人々の自立生活とリハビリ・介護の向上に貢献します
- 3 福祉機器の適切な利用と普及促進に貢献します
- 4 福祉機器の開発と関連ビジネスの発展に貢献します
- 5 福祉・リハビリ・介護等の人材養成・確保に貢献します
- 6 福祉・介護等サービス事業者の発展に貢献します
- 7 国際交流・海外情報の提供に貢献します

